

# 『中小企業白書』2012年版(続)

## 試練を乗り越えて前進する中小企業

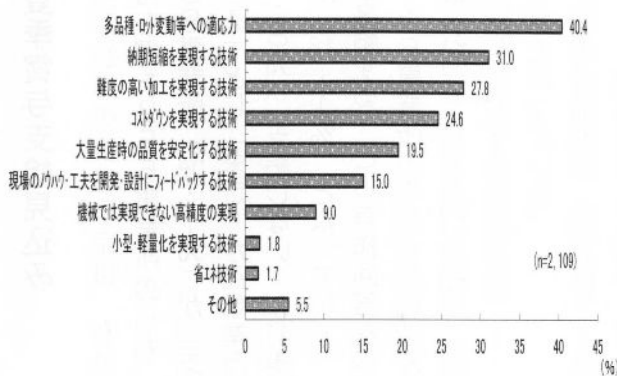
先月号に引き続き、中小企業白書の概要を紹介します。今回は、第3部の「中小企業の技術・経営を支える取組」。若手の技術人材の育成確保や、外部の専門家等を活用した経営強化の重要性などに触れています。

### 第3部 中小企業の技術・経営を支える取組

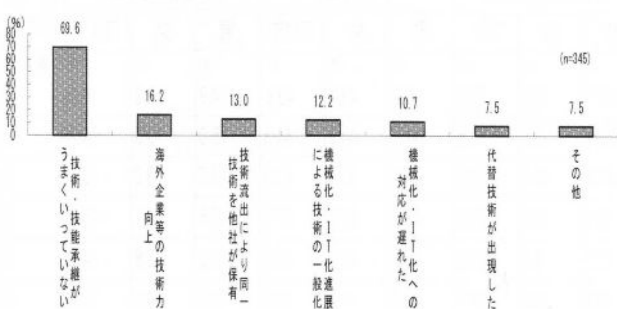
#### 【第1章】

#### 中小企業のものづくり人材の育成

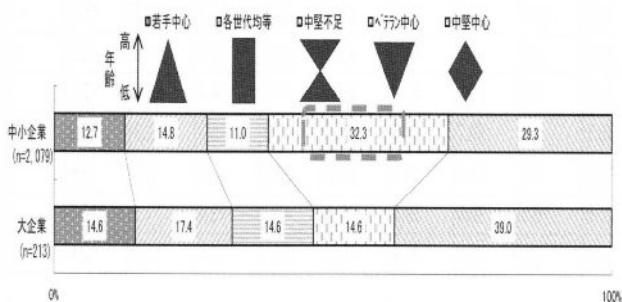
競争優位に寄与している技術（複数回答）



技術競争力が低下している理由（複数回答）



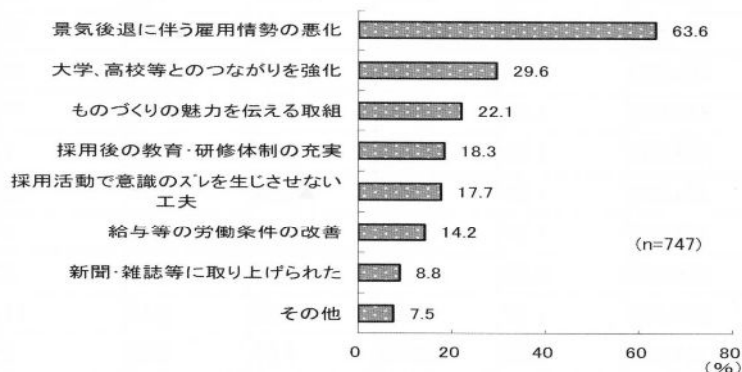
中小企業の技術・技能人材の年齢構成（大企業との比較）



競争優位に寄与している技術には、「多品種・ロツト変動等への適応力」「納期短縮」「難度の高い加工」が挙げられている。

としては、技術・技能継承の課題を挙げる企業が特に多い。技術を支える人材としては、中小企業の場合、ベテランに頼っている傾向が強い。

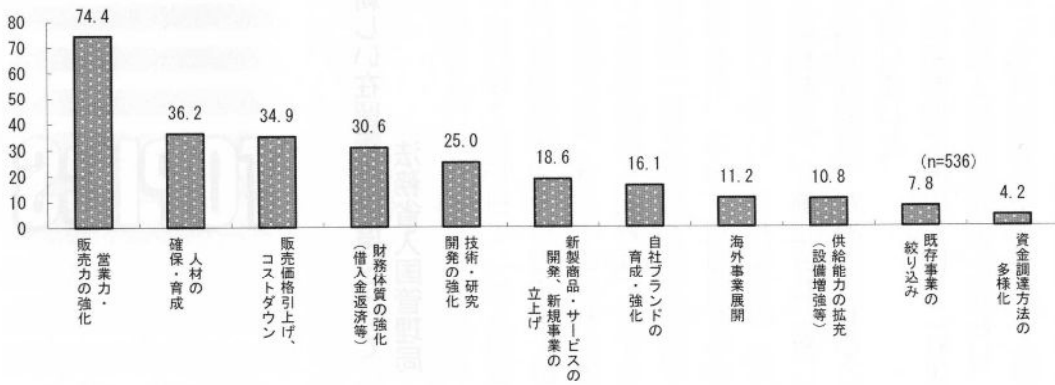
若手の技術・技能人材が採用できている要因（複数回答）



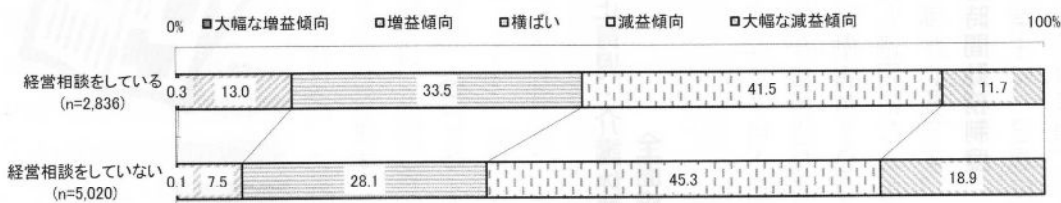
若手の技術・技能人材の採用については、概ね計画通りにできていると回答した企業の割合は大企業に比べると低い。

このような中、若手人材を概ね採用できている中小企業にその理由を聞いたところ、雇用情勢の悪化により、中小企業への求職状況が改善していることが挙げられているが、教育機関との連携といった、企業自身の取組も重要となっている。

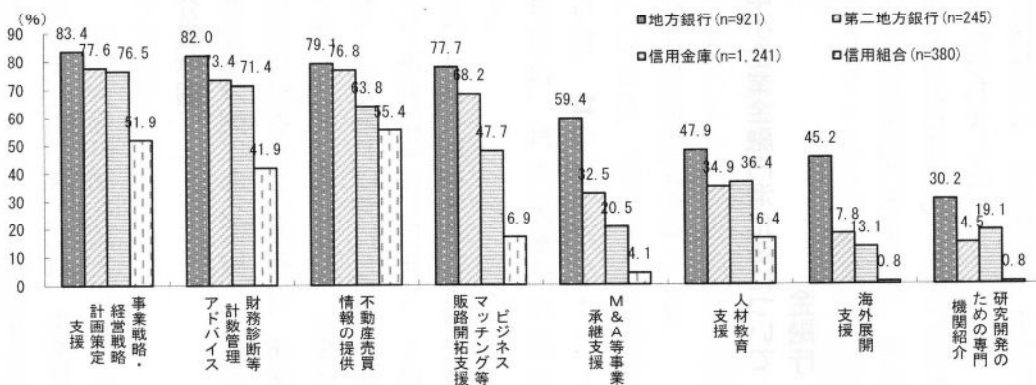
2012年に経営基盤の強化に向けて注力する分野（複数回答）



経営相談有無別の直近5年間の利益の傾向



地域金融機関の中小企業への経営支援の具体的取組状況



中小企業が経営支援を受けたことによる効果



【第2章】

中小企業の経営を支える取組

中小企業の経営課題は、多様化・複雑化しており、多様な担い手による中小企業の経営を支える

取組を取り入れながら、経営していくことが重要である。

経営相談を行っている企業の方が、経営相談を行っていない企業よりも利益は増加傾向にある。

金融機関の経営支援は、現状では、経営戦略策定支援、財務診断といった取組が中心となつてい

る。経営支援を受けた中小企業の7割が何らかの効果があったと回答。具体的な効果としては、「財務内容の改善」や「事業の継続」の割合が高い。